

ウイルス対策ソフトだけでは不十分！

高度化・巧妙化する サイバー攻撃に必要な対策

NTTコミュニケーションズ株式会社

＜本資料の概要＞

情報漏えい、データ破損などを招くウイルスは1日に36万個作られていると言われていています。

日々、膨大に作られる新種のウイルスは、既存のウイルスソフトでは検知することができず、ウイルスの侵入を防ぐことができません。実際に、ウイルス対策を実施している企業の半数以上がセキュリティ被害を経験しています。

このような高度化・複雑化しているサイバー攻撃に対して有効なセキュリティ対策を説明し、中小企業に向けた実用的な方法を紹介します。

こんな方におすすめ

- ✓ 昨今の新たなサイバー攻撃を防げるセキュリティ対策を知りたい
- ✓ セキュリティ対策を実施しているが、サイバー攻撃による被害に遭ってしまった

1. 高度化・巧妙化を続けるサイバー攻撃

- 約半数はセキュリティ被害を経験
- 新種のウイルスや標的型攻撃など巧妙化するサイバー攻撃
- 中堅・中小企業も例外ではない！サイバー攻撃の脅威

2. 未知のウイルスに有効な対策とは

- 振る舞い検知が可能なウイルス対策ソフトを導入する
- VDI環境を構築する
- Web分離により無害化する

3. ウイルスの無害化を実現する Isolation Lite

- Isolation Liteとは
- Isolation Liteの特長
- 会社概要
- お問い合わせ先

1. 高度化・巧妙化を続けるサイバー攻撃

約半数の企業はセキュリティ被害を経験

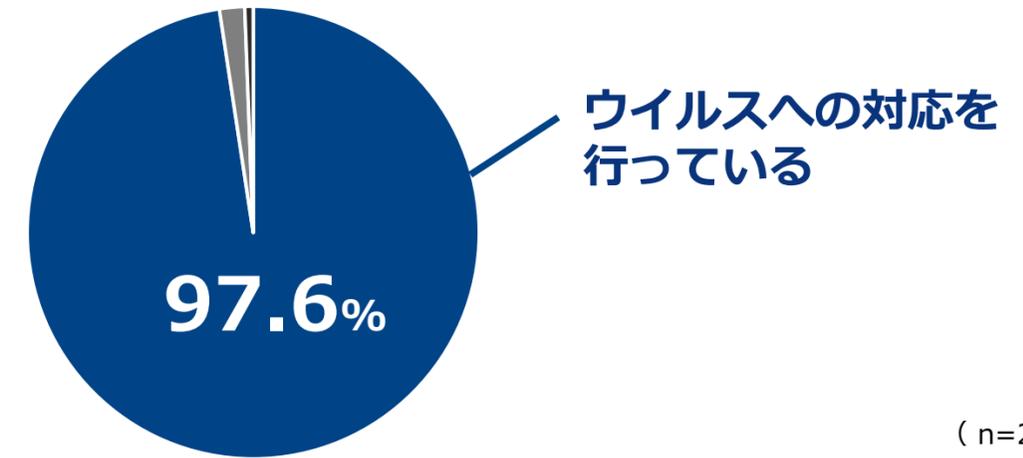
総務省の「令和2年 通信利用動向調査報告書」によると、**何らかのセキュリティ対策を実施している企業は97.6%**にも上り、ほとんどの企業でウイルスなどへの対策を実施していることがわかります。

一方、同資料では、過去1年間の情報通信ネットワークの利用の際に発生したセキュリティ侵害として、**53.7%もの企業が「何らかの被害を受けた」と回答**しています。

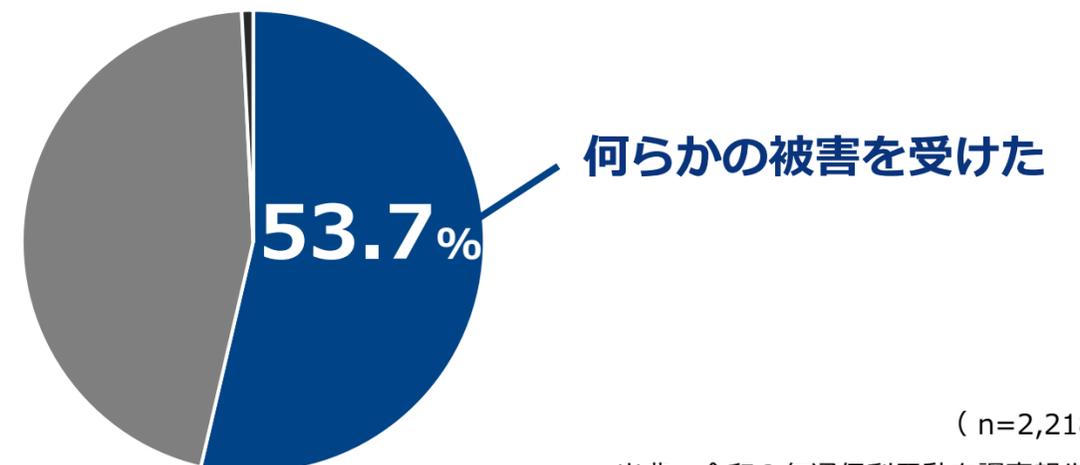
また、被害を受けた企業のうち最も多かったのは「ウイルス」によるものでした。

多くの企業がセキュリティ被害を経験

セキュリティ対策 実施企業



セキュリティ被害を経験した企業



出典：令和2年通信利用動向調査報告書

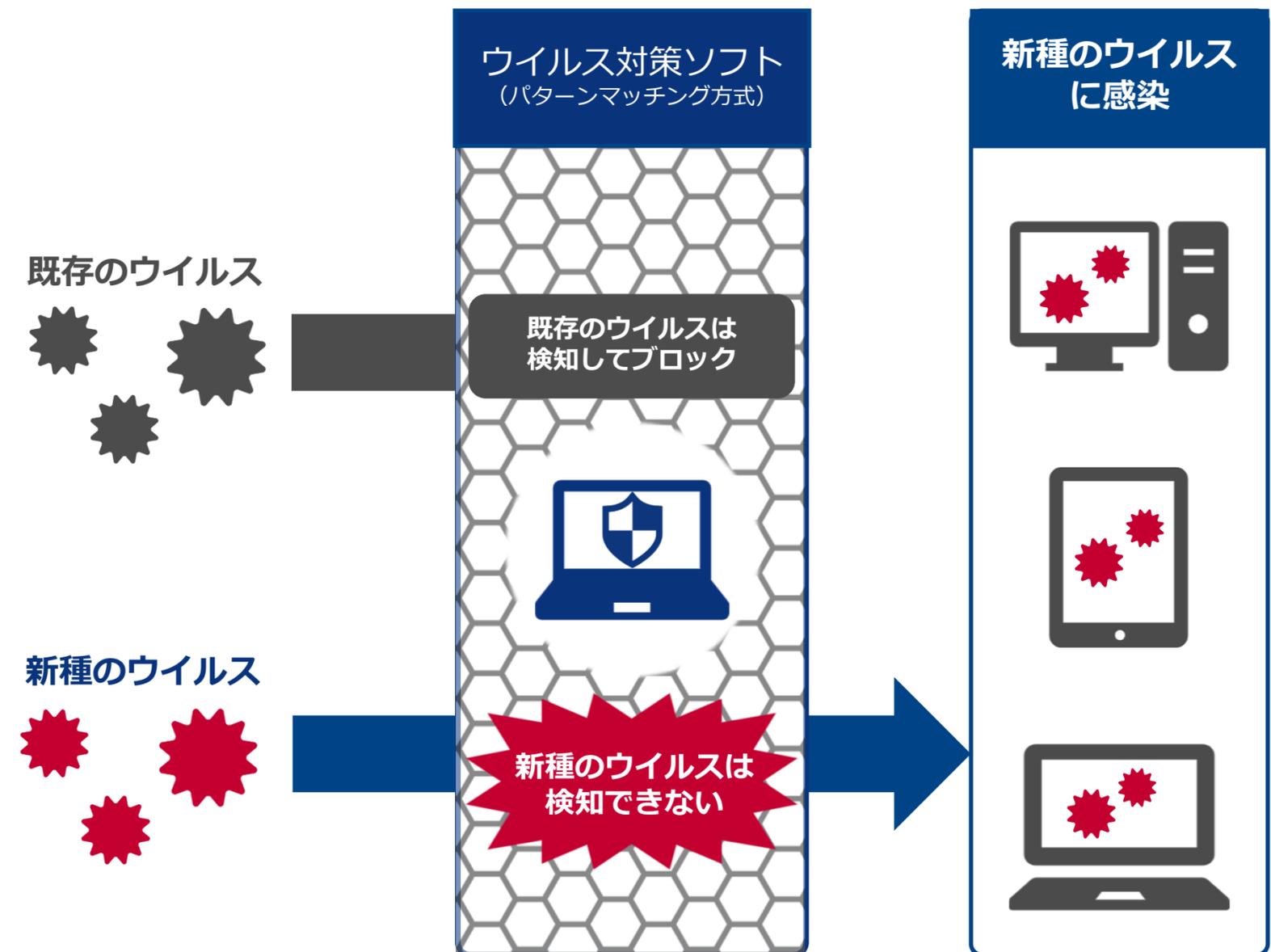
新種のウイルスや標的型攻撃など 巧妙化するサイバー攻撃

ほとんどの企業でセキュリティ対策が実施されているにもかかわらず、被害が続いている背景には、新種のウイルスや標的型攻撃など**サイバー攻撃の高度化・巧妙化**が背景にあります。

新種のウイルスは毎日数十万個作られ、中にはEmotetやIcedIDなど、世界中で大きな被害をもたらしているものも存在します。

このような新種のウイルスは、パターンによって判別する**ウイルス対策ソフトをすり抜けて侵入してきてしまうため**、被害を防ぐことは困難です。

巧妙化するサイバー攻撃



中堅・中小企業も例外ではない！サイバー攻撃の脅威

近年、大企業のセキュリティ対策が堅牢化しているため、比較的セキュリティが脆弱な取引先を踏み台としたサイバー攻撃が増えています。

攻撃を受けた場合、取引先情報の流出に伴う**損害賠償**や、**取引停止**などのリスクがあります。また、調査によって影響の範囲が判明するまで、一時的に業務を停止せざるを得なくなることもあります。

このような被害に遭わないために、サイバー攻撃の脅威を排除する対策が求められます。

企業が被りうる被害



2. 未知のウイルスに有効な対策とは

振る舞い検知が可能なウイルス対策ソフトを導入する

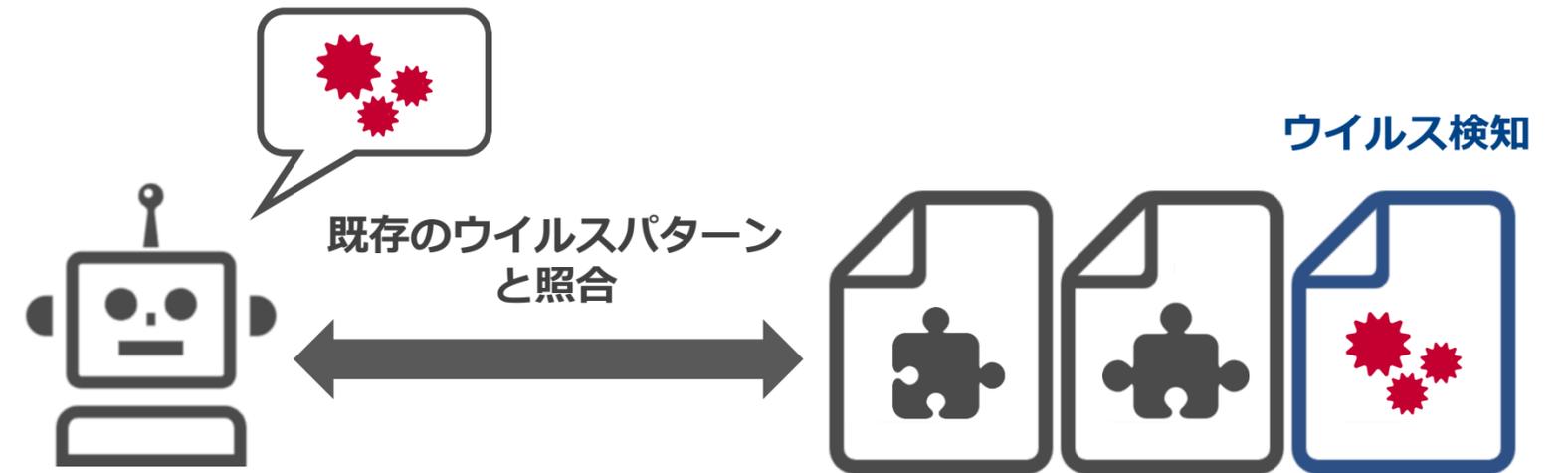
既知のウイルス情報・類似パターンから検知する従来のウイルス対策では、新種のウイルスに対しての検知率が低く、被害を防ぎきることは困難です。

そのため、**ウイルスの特徴的な挙動を察知し、検知することが可能な**ウイルス対策ソフトも登場してきています。

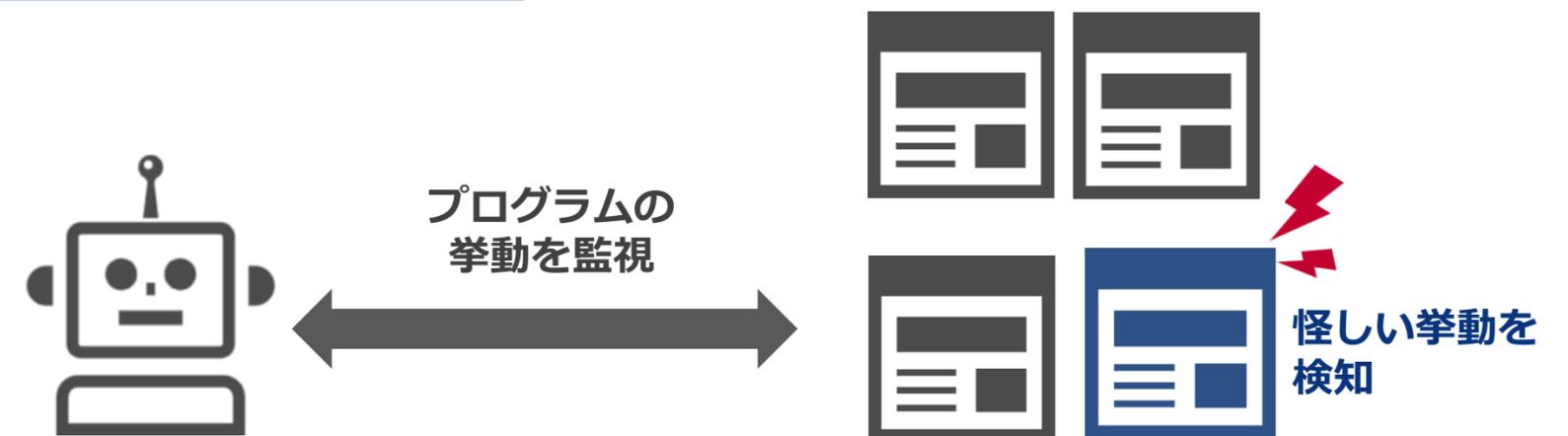
しかし、振る舞い検知が可能なウイルス対策ソフトでも、**誤検知の恐れ**やウイルスを動作させてからでない**と検出できない**といった欠点もあります。

パターンマッチングと振る舞い検知の違い

パターンマッチング



振る舞い検知



VDI環境を構築する

セキュリティを強化する手段の1つとして、VDI環境を構築する方法があります。

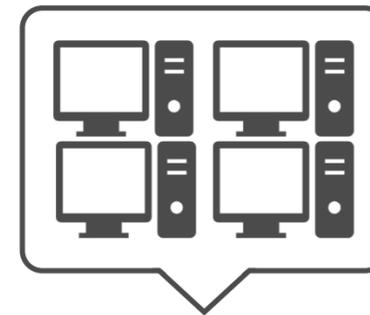
デスクトップ環境を仮想化し、サーバー上に集約するVDIのメリットは、**端末上にデータが残らず、盗難や紛失などでのデータ流出を防止できる**ことです。

また、セキュリティパッチを一括で適用できることから、管理が容易になることも利点です。

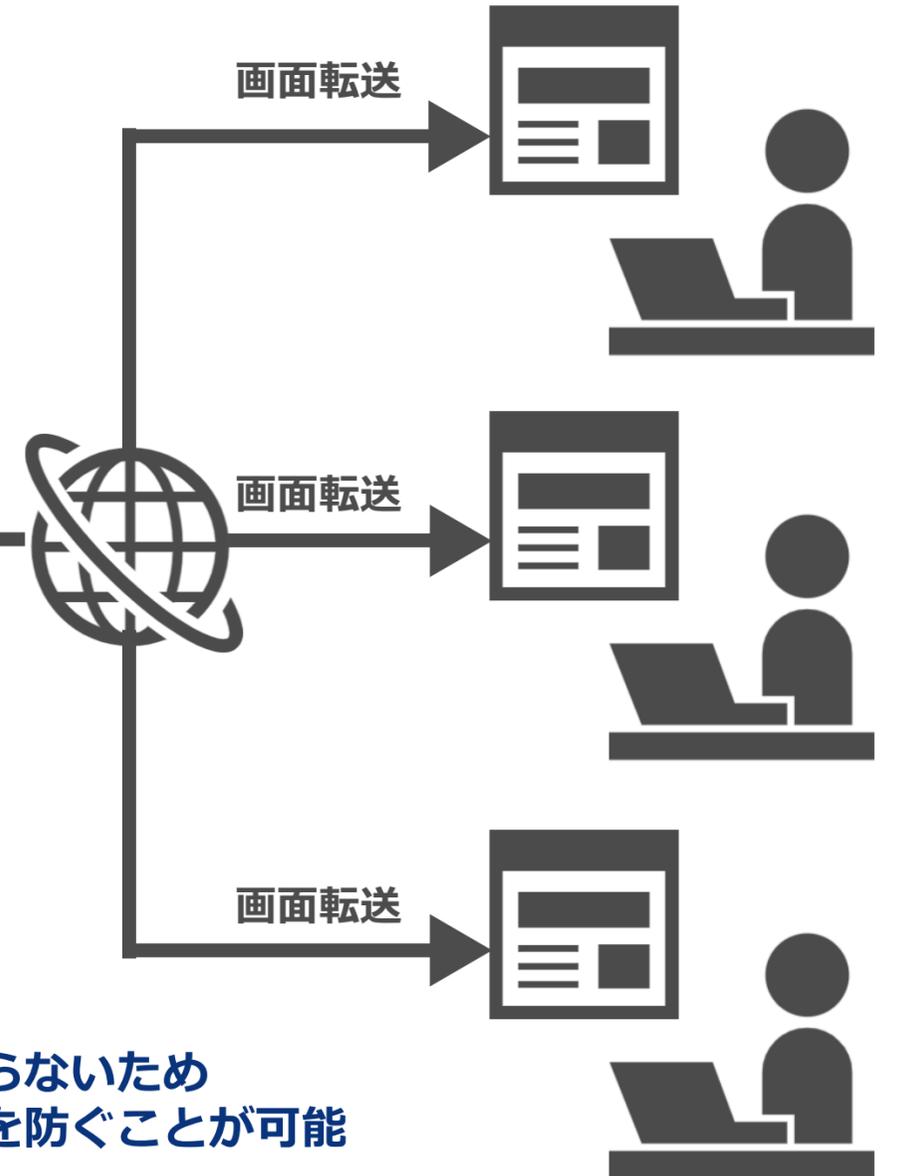
デメリットとしては、**環境の構築に多大なコストと手間がかかる**という点です。

VDI環境とは

仮想デスクトップを集約



VDIサーバー



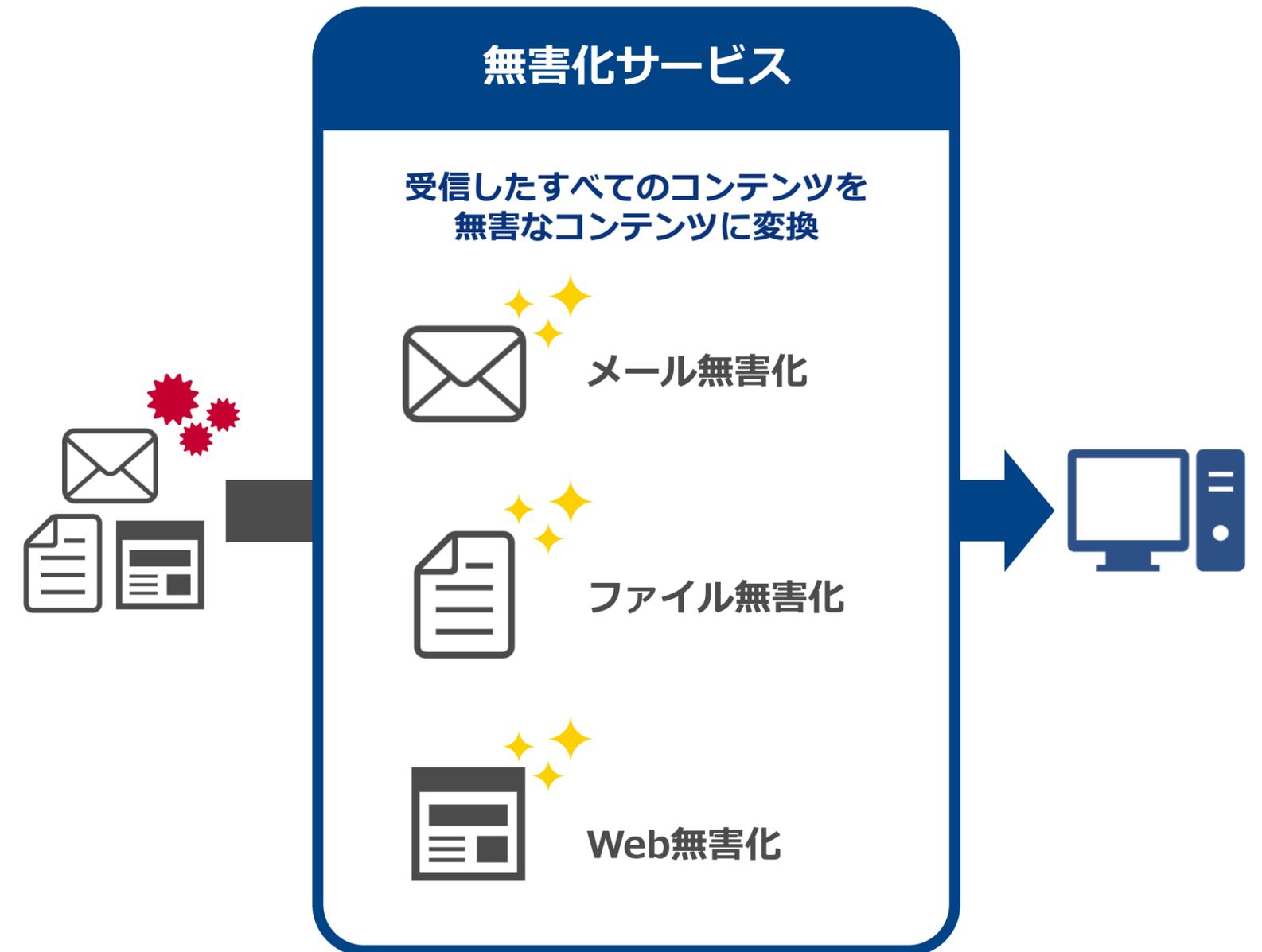
それぞれの端末にデータが残らないため
盗難や紛失などのデータ流出を防ぐことが可能

Web分離により無害化する

ウイルス感染経路の99%は、Webサイトなどのインターネット経由です。新種のウイルスにも対応するセキュリティ対策として「無害化」があります。インターネット上のコンテンツを無害なコンテンツに変換し、安全な情報だけをPCに表示できます。すべてのコンテンツを無害化するため、安全性が極めて高い対策です。

大企業や金融機関が先陣を切って無害化サービスを導入し、最近では中堅・中小企業でのニーズも高まっています。総務省や経済産業省、IPA、ISAC、親会社など上位組織から無害化によるセキュリティ強化を通達・要請されるケースもあります。

無害化方式とは



中堅・中小企業にとって最適な選択肢とは

ここまで未知のウイルスに有効な対策を3つ紹介しました。

必要コスト、導入所要期間、新種のウイルス対策、動作の軽さの4項目で比較した結果は右の図のとおりです。

3つのうち、最も有効かつ安価で中堅・中小企業におすすめな対策は「無害化」です。無害化であれば、閲覧するWebサイトやURLをすべて無害化するので、誤検知の恐れもなく、手間なく簡単に利用可能です。

対策	必要コスト	導入所要期間	新種のウイルス対策	動作の軽さ
振る舞い検知	○ 低い	○ 短い	△ 誤検知の可能性	△ 重い場合がある
VDI	× 高い	× 長い	○ VDIサーバーで一括管理	× 重い
無害化	○ 低い	○ 短い	○ すべて無害化	○ 軽い

3. ウイルスを無害化する Isolation Lite

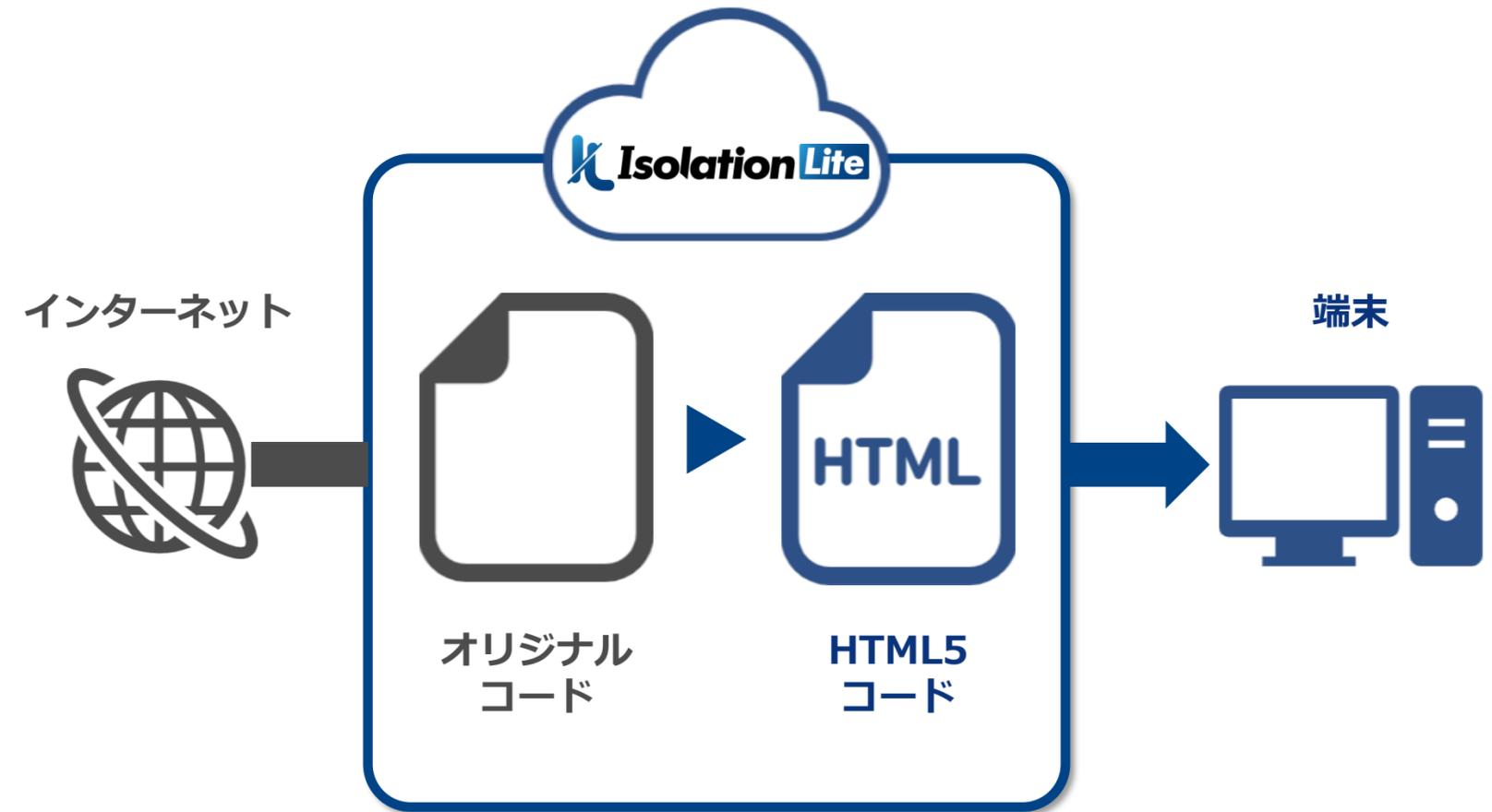
Isolation Liteとは

Isolation Liteは、**Webサイト・添付ファイルを無害化し、新種のウイルスの脅威から守ることができる**、中堅・中小企業向けクラウドサービスです。

独自の技術により、ネットワークへの負担を最小限に抑えているため、通信速度やPCパフォーマンスの低下を気にせず利用できるメリットがあります。

導入にあたっての初期費用は0円、月額費用は1ユーザーあたり800円（税込880円）で手軽にご利用いただけます。

Isolation Liteの無害化方式



独自の技術でソースコードをHTML5コードに瞬時に変換し、端末に転送

Isolation Liteの特長

Isolation Liteは、セキュリティ対策を容易に強化できます。

セットアップツールをインストールするだけで初期設定が完了するので、簡単に導入できます。

また、既存対策との併用ができるため、双方の強みを活かしたウイルス対策を実現可能です。

ウイルスを検知するのではなく、無害化するため、ウイルス検知によるアラート対応の必要がありません。

そのため、管理者の運用負担も大幅に削減できます。

主な特長



**セットアップツールで
導入が簡単！**



**既存対策との併用で
手軽にセキュリティ強化**



**管理者の負担となる
アラート対応の必要なし！**

[Isolation Liteの詳細はこちら >>](#)

お問い合わせ先

NTTコミュニケーションズ株式会社
Menlo Security担当

menlo-info@ntt.com

※お問い合わせ受付後、2営業日以内にご連絡します